

## 無題

遺すべきなにも物もなく立ち去る  
そのことは何ら心残りではない  
残された時間をどう過ごせばよいのか  
そのことに身悶えする

ただ、流れ込んでくる音楽  
何も共鳴せず、流れ込んでくるだけの音楽  
演奏者は何を感じようとしているのか  
私は、それらの輪の外に居るに違いない

この生命を捧げるべき何物もない  
匂やかで甘い果汁のような時間もない  
全ては無機的な創造によってもたらされている  
その計算の見事さを賞賛する声ばかりだ

全てをバランスよく摂取する  
それが健康を保持する秘訣だ  
その中で個性を主張すること  
それこそが「生きる」ことだって！

ああ、<sup>へど</sup>反吐が出る

浮浪者共さえ行儀よく感心する  
「そうだ、個性の主張だとも」と・・・  
高貴なものは何処に消えたんだ

どれもこれもみな同じ  
あれもこれも、ちっとも違いはしない  
誰もがそれに気付いていながら  
己に低俗のレッテルを貼られることを怖れている

ああ、高貴であることを選ぶこと  
その危険さを指弾する群衆たちよ  
目を覚ますがいい  
金持ちであることを選ぶことも同様に危険だと知れ

尊敬する必要などない、静かな世界

計算力を基準とした競争の容認  
閨房にのみ閉じ込められた安全な生命  
大衆に媚び、大衆を擁護する社会

遺すべきなにもものもなく立ち去る  
そのことは何ら心残りではない  
残された時間をどう過ごせばよいのか  
ああ、そのことに身悶えする

(2004.5.3)